

今年度を振り返って～「心やさしく 心身ともにたくましい子の育成」～

今年は冬の寒さがひときわ厳しかったせいか、西門横の紅梅もようやく咲きそろってきました。運動場では、暖かな日差しを浴びて元気に遊ぶ子どもたちの姿が見られます。

さて、まもなく今年度末を迎えます。そこで、学校教育目標に基づいて今年度の取組を振り返ってみたいと思います。

まず、新たな取組の「ジャンプアップタイム」は、火曜日の昼休みの時間を通常より長い30分間にすることで、子どもたちに「時間・空間・仲間」の三間のそろった場で楽しく思いっきり体を動かしてほしい、担任等と遊びを通してふれ合ってほしいと考えて、今年度から設定しました。そもそもこの取組を始めたのは、昨年度の学校評価アンケートの中に、高学年は委員会活動などで昼休みに十分遊ぶことができないという声等に応えてのことであり、児童の体力向上や**心身ともにたくましい子どもの育成**をねらっています。1年間を振り返って、今後も継続する方がよいという声が多く、来年度も実施していくたいと考えています。

次に、目指す学校像の中の「一人一人が目標をもって力いっぱい努力する学校」については、体育科の学習を通して一人一人がその運動や遊びのもつ楽しさに触れ、力いっぱい活動する姿を求めて研究をすすめました。この取組を通して、子どもたちが達成感や充実感を味わうとともにさらに意欲が高まること、どうすればできるようになるのか、どんな工夫をすれば相手チームに勝てるのかということ等を仲間と共に思考・判断すること、そしてそこから生まれる必然性のある言語活動を行うことによって、技能や学びの向上とを図りました。まだ研究途上ではありますが、どの教員も授業時の子どもの目の輝きや姿が変わったことから、手ごたえを感じています。

また、学校生活をより楽しくするために児童会本部の児童を中心に学校のシンボルマークを募集・選定したり、昨年度の環境美化委員会の子どもたちが呼びかけてくれた掃除（黙働）を継続して進めたりするなど、目指す学校像の中の「より楽しく、より美しい学校にしようと、みんなが主体的に考え実践できる学校」になってきていることをうれしく思っています。昨年度もお伝えしましたが、今年も6年生がリーダーとなって児童会活動やたてわり活動を進める中で、たくましさとともに下級生を思いやる優しい心が育っているのは、本校の伝統としてこれからも大切にしてきたいと思います。そして、児童も教職員もこの西京極小学校を「ぼくの学校・わたしの学校」として誇りに思い、これからも大切にしてくれることを願っています。

最後になりましたが、保護者や地域の皆様方には、この1年間本校教育の推進に向けて、大変お世話になりました。ありがとうございました。来年度も、どうぞよろしくお願ひいたします。

校長 今村 ひろみ

